

領域開拓プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

- ◆課題: 「人文学・社会科学における方法論の検討および新たな創出の試み」
- ◆研究テーマ: 「分野間比較を通じた質的研究アプローチの再検討」

研究期間: R2.10~R5.3
委託費総額: 14,625千円

<研究代表者>

井頭昌彦: 一橋大学大学院社会学研究科 / 教授



<専門分野>

分析哲学, 科学哲学

<Webページ>

https://www.soc.hit-u.ac.jp/teaching_staff/igashira.html

<研究目的・概要>

人社系の質的知見は説得性評価が困難で、他分野や実社会で十分に活用されていない。



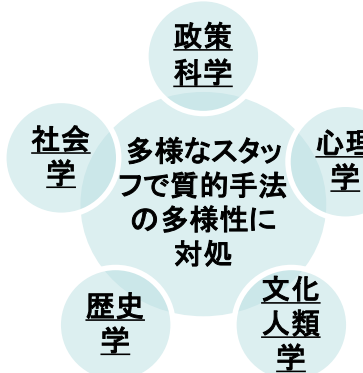
統計手法との対比で運用実態を明確化し、人文/社会科学の説得性を評価可能に。

- ・社会科学方法論の議論蓄積を背景として質的手法の分野別特徴を整理・共有する。
- ・対外的にも理解可能な形で説得性を解明。



人文社会科学内での質的/量的の協働、自然科学や実社会との協働を可能に。

<研究計画の特徴>



- ・分野間討議を重ねることで対外的説明を可能に。
- ・科学哲学的視点を導入し包括的な分析を実施。
- ・自然科学系諸分野との連携協働も視野に。
- ・若手研究者による方法論サーベイを実施, HP公開。
→人材育成にも寄与。

<目標とする研究成果>

(1) 質的手法の説得性を解明する。

- ・質的手法の説得性確保メカニズムの解明。
- ・統計手法との異同を示し, 相互理解を深化。

(2) 質的知見の外部利用を可能にする。

- ・従来, 質的知見は分野外活用は不十分。
- ・これを活用することで, イノベーションを促進。

<将来展望>

研究機関の特性を生かし国際拠点へと展開。